

## 日本大学生物資源科学部（学士（獣医学））の卒業の認定並びに教育課程の編成及び実施に関する方針

### 【卒業の認定に関する方針】

日本大学生物資源学部は、「日本大学教育憲章」に則り、日本や国際社会が直面している生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を発見・解決し、科学・技術の持続的な発展に貢献することを基本理念としている。また、獣医学科では豊かな教養、獣医学に関連する幅広い知識と高い専門性、高い倫理観を身につけた人材の育成を教育目標としている。これらの基本理念と教育目標に基づき、「日本大学マインド」と「自主創造」の能力を身につけ、かつ獣医学科の教育研究上の目的に対して設定された卒業要件を満たす者に、学士（獣医学）の学位を授与する。

### 【教育課程の編成及び実施に関する方針】

日本大学生物資源学部（学士（獣医学））では、「日本大学教育憲章」（以下、「憲章」）を基に、卒業の認定に関する方針として示された8つの能力（コンピテンシー）を養成する。この目的を達成するために、教養教育科目、基礎専門科目、専門教育科目等の授業科目を、設定された各能力別に体系化し、講義・演習・実習等の多彩な学修方法による教育課程を編成して実施する。

学修の成果は、シラバスに明示された到達目標の達成度について、授業形態や授業手法に適した多面的な方法により評価する。「憲章」に示される「日本大学マインド」および「自主創造」の3つの構成要素に関連した8つの能力に関しては、授業内容に対する到達度に加えて、学生自身による振り返り等も考慮して総合的に判定する。

日本大学教育憲章 （「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針	科目 (学年)
構成要素 (コンピテンシ)	能力 (コンピテンシー)	構成要素 (コンピテンシ)	能力 (コンピテンシー)		
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。	豊かな教養と獣医学に関する専門的な知識に基づく高い倫理観	〔DP1〕 獣医師として活躍するのに必要とされる豊かな教養・知識・技術を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。	〔CP1〕 教養教育科目、基礎専門科目、各種専門教育科目の体系的な学びを通じて、日本や国際社会が直面している獣医学や生命・食料・資源・環境に関するさまざまな問題を理解し、説明する能力を育成する。	
世界の現状を理解し、説明する力	世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。	動物の保健衛生・福祉と公衆衛生・畜産業の向上・発展のために世界を理解し、説明する力	〔DP2〕 日本や国際社会における飼育動物の診療、保健衛生・福祉と公衆衛生の向上、畜産業に関する諸問題を理解し、説明することができる。	〔CP2〕 獣医学を体系的に学修することにより、生命科学、獣医療ならびに公共獣医事に関する幅広い知識を有し、国際的な視点に立って指導できる人材を育成する。	
論理的・批判的思考力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。	獣医師としての論理的・批判的思考力	〔DP3〕 獣医学に関連するさまざまな情報を基に、論理的・批判的な思考をすることができる。	〔CP3〕 卒業論文もしくは臨床研究を通じて、科学的根拠に基づいた論理的・批判的な思考能力を身につけた人材を育成する。	
問題発見・解決力	事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	獣医師として問題の発見・探求と解決力	〔DP4〕 日本や国際社会における獣医学に関連する諸問題を発見し、その解決策を提案することができる。	〔CP4〕 専門教育科目の学修を通じて、自主的に問題や課題を発見し、その解決策を提案できる人材を育成する。	
挑戦力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。	挑戦力	〔DP5〕 獣医学の発展に寄与するために、新たな問題や課題に果敢に挑戦することができる。	〔CP5〕 6年間の学修を通じて、新たな問題や課題に対し諦めることなく果敢に挑戦し、その成果を社会に発信できる人材を育成する。	
コミュニケーション力	他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。	コミュニケーション力	〔DP6〕 獣医師としての社会的な責務や役割を理解し、自分の考えを正しく伝え、実行することができる。	〔CP6〕 6年間の学修を通じて、自分の考えを正しく伝え、実行することができる人材を育成する。	

日本大学教育憲章 （「自主創造」の3つの構成要素及びその能力）		卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針	科目 (学年)
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)		
リーダーシップ・協働力	集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	協働力・連携力・貢献力・リーダーシップ	〔DP7〕 獣医師として適切なリーダーシップを発揮し、さまざまな分野の人々と連携・協働することができる。	〔CP7〕 6年間の学修を通じて、さまざまな分野の人々と連携・協働する能力、専門知識を活用してリーダーシップを発揮し、連携・協働者の活躍を支援する能力を有する人材を育成する。	
省察力	謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。	省察力・研鑽力	〔DP8〕 将来にわたって獣医学に関する専門知識及び技術を省察・研鑽し、獣医学の関わる様々な分野に貢献することができる。	〔CP8〕 6年間の学修を通じて、幅広い視野と深い洞察力を培い、自己の資質を高めるとともに、省察力や自己研鑽力を有する人材を育成する。	